

1. 科目名 (単位数)	倫理学 (2単位)	3. 科目番号	GELA1320
2. 授業担当教員	篠 大輔		
4. 授業形態	講義、演習、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>われわれ人間は、事実的な文脈(「～である」)と価値的な文脈(「～すべき/よい/悪い」)とが交差しながら織り成す毎日の中で生きている。大雑把に言えば、「科学」を志向するさまざまな学問分野は、前者(事実)を明らかにすることを目指しており、他方、後者(価値)をその研究対象に据えているのが、哲学や本コースで学ぶ倫理学である。</p> <p>価値(判断)という捉えどころのないものに対して、人類社会は、少なくとも2,000年以上にわたって思索を積み重ね、叡智を積み上げてきた。本コースでは、そのような倫理学の主要な理論や学説を、日常生活につながりをもつような問いと重ね合わせながら学んでいく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代社会における様々な倫理的問題に関心を持ち、それに対する自分の意見を発表することができる。</li> <li>2 さまざまな倫理学説を学ぶことによって、日常生活の中にいるいろいろなかたちで姿を表す「正義」「幸福」「公正」「自由」「義務」といった概念に対して、自分なりに根拠をもって説明できるようになる。</li> <li>3 倫理的問題に関する様々な議論を理解し、それを踏まえて自分の意見を聞いている人に分かりやすく述べることができる。</li> <li>4 ディスカッションを通して、人の意見をよく聞き、自分の意見を人に分かりやすく伝えることができる。</li> </ol>		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前課題・ワークシート(各回の講義内容に沿った課題を提示する。)</li> <li>2. 期末レポート 「事前課題・ワークシートに記述してきた自分の意見や授業中のディスカッションを踏まえて、自分自身の倫理観について分析しなさい。」</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 高橋昌一郎『哲学ディベート 〈倫理〉を〈論理〉する』NHK出版、2007。</p> <p>【参考書】 ジェームズ・レイチェルズ著・古牧徳生・次田憲和訳 『現実をみつめる道徳哲学 - 安楽死からフェミニズムまで - 』晃洋書房、2003。 アンソニー・ウエストーン著・野矢茂樹・高村夏輝・法野谷俊哉訳『ここからはじまる倫理』春秋社、2004。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における様々な倫理的問題に関心を持つことができたか。</li> <li>・倫理学に関わる概念について、自分なりに根拠をもって説明できるようになったか。</li> <li>・倫理的問題に関する様々な議論を理解し、それを踏まえて自分の意見を持つことができたか。</li> </ul> <p>○評定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平常点(積極的参加度・授業態度・発表・発言等) 30%</li> <li>・課題(中間レポート・ワークシート等) 30%</li> <li>・期末評価(レポート・試験等) 40%</li> </ul>		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前課題を毎回出しますので、教科書を読み、授業前に事前課題に取り組みましょう。事前課題を行っていない人の出席は認めません。</li> <li>2. 授業中は私語を慎み、携帯電話の電源を切って参加してください。</li> <li>3. グループワークやディスカッションには積極的に参加しましょう。</li> <li>4. 授業中に分からなかったことや疑問点は後に残さずに授業後に質問してください。</li> <li>5. レポートや課題の提出期限を守ってください。</li> <li>6. 正当な理由のない遅刻、早退、欠席はしないように心掛けてください。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	初回講義で連絡する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	はじめに - 〈論理〉と〈倫理〉	事前学習	「目次」を見て、興味のあるテーマをチェックしておく。
		事後学習	倫理学を学ぶ意義について自分なりに考えをまとめておく。
第2回	功利主義と普遍的道徳	事前学習	教科書「はじめに」(pp.9~24)を読み、事前課題に取り組む。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第3回	道徳 - あなたはなぜ正直なのか(序章)	事前学習	教科書(pp.24~71)を読み、事前課題に取り組む。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第4回	文化 - 食べるとはどのようなことか①(第I章) - 命の授業 -	事前学習	教科書(pp.73~94)を読み、事前課題に取り組む。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合った

			ことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第5回	文化 - 食べるとはどのようなことか② (第I章) - 犬食問題 -	事前学習	教科書 (pp. 95~114) を読み、事前課題に取り組む。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第6回	人命 - いかに産むべきか① (第II章) - 代理出産 -	事前学習	教科書 (pp. 115~138) を読み、事前課題に取り組む。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第7回	人命 - いかに産むべきか② (第II章) - ベビー・ビジネス -	事前学習	教科書 (pp. 138~158) を読み、事前課題に取り組む。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第8回	人権 - どのように罰するべきか① (第III章) - 死刑 -	事前学習	教科書 (pp. 159~185) を読み、事前課題に取り組む。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第9回	人権 - どのように罰するべきか② (第III章) - 終身刑 -	事前学習	教科書 (pp. 186~201) を読み、事前課題に取り組む。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第10回	自由 - 何をしても許されるのか① (第IV章) - メーガン法 -	事前学習	教科書 (pp. 203~224) を読み、事前課題に取り組む。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第11回	自由 - 何をしても許されるのか② (第IV章) - 売春 -	事前学習	教科書 (pp. 225~245) を読み、事前課題に取り組む。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第12回	尊厳 - いかに死すべきか① (第V章) - 安楽死 -	事前学習	教科書 (pp. 247~270) を読み、事前課題に取り組む。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第13回	尊厳 - いかに死すべきか② (第V章) - 自殺 -	事前学習	教科書 (pp. 270~289) を読み、事前課題に取り組む。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第14回	これまでの議論を踏まえて自分自身の倫理観について分析する	事前学習	これまで取り上げたテーマやディスカッションの内容を復習し、自らの倫理観について考えておく。
		事後学習	ディスカッションの中で明らかとなってきた自分自身の倫理観について分析し、まとめる。
第15回	まとめ - これまでの議論を振り返って	事前学習	自分自身の倫理観の分析について振り返っておく。
		事後学習	この授業で学んだことを今後、受講する授業で活用する。